

メッセージ題「愛の使者」 <先週の講壇より>

「彼らはその星を見て、非常な喜びにあふれた。」マタイ 2:10【口語訳】

私がアメリカに渡ってきたのは21年前、サンフランシスコベイエリアの教会でした。当時のその教会には同世代の人は少なく、子育てはずっと昔に終えているといった方々がメインでした。30代になったばかりだった私たち夫婦は、4歳と1歳の娘たちを連れて、地域の幼稚園から何からすべて手探りだったことを思い起こします。

そんな中で迎えたクリスマス時期のある夜、私は1歳の次女を連れて近くのグローサリーストアに買い物に行きました。そのお店の前には7~8名の救世軍(Salvation Army)の方々が並び、管楽器などでクリスマスの賛美を奏でておられました。北カリフォルニアの寒空の下、心を込めて演奏しておられる賛美の音色。その頃、人間的に見れば頼るところのないような日々、とても不安や孤独を抱えながら過ごしていた私でした。そんな中で響いてきた温かいクリスマス賛美が、なんとも心に響いてきて、1歳の娘の手をぎゅっと握りしめ、その場でボロボロ涙を流しながら、何曲も何曲も賛美に耳を傾け立ち尽くしたことでした。

あの東方から来た博士たちの存在は、貧しく孤独だったマリアとヨセフにとっても、大きな喜びだったことでしょう。そんな愛の使者をお送りくださった神様は、今日もあなたの胸に温かい愛を注いでくださるはずです。



オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ

< 主の祈り >

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

< 使徒信条 >

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年12月12日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2:15

☆集会所案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

